

競 技 上 の 注 意

第 34 回北海道高齢者卓球大会「ラージボール」
兼 第 34 回全国健康福祉祭神奈川県大会予選会
審判長 森 美香子

現行のラージボール卓球ルールと本大会特別ルールを適用して実施する。

1. ボール、ラバー、ラケットについて

- (1) (公財)日本卓球協会公認球 44mm「(プラスチック)を使用する。
- (2) ラバーは JTTA 公認の表ソフトラバーとする(粒高ラバーは使用できない)。
- (3) ラバーはラケット本体より大きかったり、小さかったりしないこと。
- (4) ラケット本体のエッジ周りに施す縁取りテープは、ラバーの上に出てはいけない。
- (5) ラケット本体を覆っているラバーの表面、あるいは被覆されていない本体の表面は無光沢で、片方は明るい赤、他方は黒でなければならない。
- (6) 打球に使用しない面にも、使用できないラバーを貼ることはできない。

2. 競技について

- (1) 11本3ゲームズマッチとする。
- (2) 10:10に達した時は、以降2ポイント差とした競技者または組を勝ちとする。
- (3) サービスは2ポイント毎に交替する。但し、10:10以降および促進ルールが適用された場合は1ポイントごとに交替する。
- (4) 試合開始前の練習時間、及びゲーム間の休憩時間は1分以内とする。
- (5) タオルの使用は6ポイント毎、及び最終ゲームのエンド交換時のみとする。

3. サービスについて

- (1) サーバーは、フリーハンドの手のひらを開き、その上につかむことなく自由に転がる状態でボールをのせ 2~3秒静止させる。この状態からサービスは開始される。
- (2) ボールに回転を与える事なく、ボールがフリーハンドの手のひらから離れた後、打球される前になにもものにも触れず落下するように、16cm以上ボールをほぼ垂直に投げ上げなければならない。

4. 促進ルールについて

- (1) ゲーム開始後8分経過した場合、あるいは両競技者から要請があった場合は促進ルールが適用される。但し、両者のポイント合計が18点以上の場合は、試合開始から8分経過しても促進ルールは適用されない。

5. 服装について

- (1) 競技用服装は JTTA 公認のものであること。
- (2) 団体戦・ダブルスの服装の組み合わせは任意とする。
- (3) 必ずゼッケンを着用すること。

6. その他

- (1) 競技者はそれによって競技が遅れさえしなければ、ラリー中を除いていつでもアドバイスを受けることができる。
- (2) バッドマナーの対象となるような行為をしないこと。(観客に不快感を与える行為、相手選手をいらだたせる行為、器具・用具を乱暴に扱うような行為)